

赤穂市下水道耐水化計画

赤穂市 上下水道部 下水道課
策定 令和 4年 3月

① 基本方針

(対象外力)
・ 当面の対象外力（短期） 洪水による年超過確率 1/100 時の想定浸水深を対象として、対策を実施する。
・ 将来の抜本対策の対象外力（長期） 高潮（破堤あり）による想定浸水深を対象として、対策を実施する。
(対象施設)
はりま台処理場、浜田中継ポンプ場、塩屋中継ポンプ場、南野中中継ポンプ場、磯浜中継ポンプ場 真殿中継ポンプ場、塩屋ポンプ場、西沖ポンプ場、有年ポンプ場、御崎ポンプ場

② 対象施設及び対策浸水深

施設名称	施設能力(現有)	影響人口	対象外力	対象確率	対策浸水深
はりま台処理場	265m ³ /日	213 人	洪水	100 年確率	GL+1.30m
浜田中継ポンプ場	13.14m ³ /分	14,606 人	洪水	100 年確率	GL+1.38m
塩屋中継ポンプ場	1.29m ³ /分	1,837 人	洪水	100 年確率	GL+0.70m
南野中中継ポンプ場	6.93m ³ /分	8,420 人	洪水	100 年確率	GL+1.63m
磯浜中継ポンプ場	8.1m ³ /分	4,443 人	洪水	100 年確率	GL+0.41m
真殿中継ポンプ場	3.0m ³ /分	1,429 人	洪水	100 年確率	GL+2.20m
塩屋ポンプ場	764m ³ /分	9,040 人	洪水	100 年確率	GL+0.71m
西沖ポンプ場	246m ³ /分	3,012 人	洪水	100 年確率	GL+1.36m
有年ポンプ場	214m ³ /分	986 人	洪水	100 年確率	GL+1.42m
御崎ポンプ場	1,080m ³ /分	10,890 人	洪水	100 年確率	GL+0.30m

③ 確保すべき機能（短期：5年程度）

施設名称	確保すべき機能	対象施設と関連する主要設備機器	備考
はりま台処理場	揚水機能 沈殿機能 消毒機能	主ポンプ設備 汚泥ポンプ 塩素混和池	電気設備はいずれの設備に関連する。
浜田中継ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
塩屋中継ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
南野中中継ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
磯浜中継ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
真殿中継ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
塩屋ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
西沖ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
有年ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃
御崎ポンプ場	揚水機能	主ポンプ設備	〃

確保すべき機能（中期：5～10年程度）

施設名称	確保すべき機能	対象施設と関連する主要設備機器	備考

④ 実施計画（短期：5年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化 対象施設	事業内容	備考
はりま台 処理場	汚泥ポンプ 水処理棟 現場盤	防護壁の設置 開口処置・防水扉の設置 現場盤の移設	
浜田 中継ポンプ場	ポンプ棟 プルボックス	開口処置・防水扉の設置 プルボックスの高所移設	
塩屋 中継ポンプ場	ポンプ棟	止水板の設置	
南野中 中継ポンプ場	ポンプ棟 引込開閉器 プルボックス	開口処置・防水扉の設置 引込開閉器、プルボックスの高所移設	
磯浜 中継ポンプ場	プルボックス	プルボックスの高所移設	
真殿 中継ポンプ場	流入ゲート ポンプ棟 電力量計	設備自体の防水化 開口処置・防水扉の設置 電力量計の移設	
塩屋ポンプ場	ベルトコンベヤ 沈砂池電源箱	設備の高所移設 現場操作盤の高所移設	
西沖ポンプ場	ポンプ棟 プルボックス	開口処置・防水扉の設置 プルボックス・現場盤の高所移設	
有年ポンプ場	ポンプ棟 開閉器箱 水位計	開口処置・防水扉の設置 開閉器箱、水位計の高所移設	
御崎ポンプ場	ポンプ井蓋 汚水柵	設備自体の防水化 開口処置 ケーブル貫通部の閉塞	

④ 実施計画（中期：5～10年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化 対象施設	事業内容	備考
—	—	—	はりま台処理場は、短期の対策（防護壁の設置）により、沈殿機能を確保できる。